

神明神社の風の祈とう―山添村で



神明神社 (山添村)



山添村のシンボル、神明
野山南方の切幡地区に鎮

座する神明神社は、夏でも涼感漂う山間部にあります。

国道と県道が交差する広々とした神社前の交差点は、古代からの交通の要衝を思わせます。

木漏れ日が揺れる参道を進むと、「太神宮」(伊

(住所) 山添村切幡741
(主祭神) 大日靈貴神
(交通) 名阪国道神戸ICから南
西約1・7キロ

(拝観) 境内自由
(駐車場) 無
(電話) 0743・85・0081
(村観光協会)

勢神宮」と刻まれた手水舎があり、右手に拝殿が見えます。主祭神は大日靈貴神(天照大神の別名)です。

神社では、稲作の一番の厄日とされる二百十日(立春を起算日として210日目)の平穩無事を祈る伝統行事「風の祈とう」が、毎年8月18日に

行われます。この日は、拝殿の前庭の中央の左右に腰の高さほどのサカキが、2本立てられます。

神主を先頭に、村民たち2本のサカキの周りを「一万度わーい」と何度も唱えながら両手を挙げて回ります。

この時期は台風のシーズンで、1万回お願いが続きます。

(奈良まほろばソムリエの会員 藤井哲子)

台風払う「一万度わーい」

正式な記録は残されていませんが、1回では足りないという心を受け継がれています。